

第1学年	家庭科	使用教材	教科書（開隆堂） 技術・家庭 家庭分野	家庭科担当 大西 優璃
------	-----	------	------------------------	----------------

<学習の目標>

生活に必要な基礎的・基本的な知識および技術の習得を通して、生活と技術とのかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。

授業のポイント	・準備物をそろえ、話をしっかり聞くこと。 ・提出物は期限内に提出する。自分の意見をしっかり持ち、積極的に発表する。
家庭学習について	・家での実践で力をつけることができる。自分なりに工夫して取り組む。 ・授業でやったことを家庭でも取り入れる。
テストについて	・1学期末、2学期末、3学期期末試験を実施する。

評価の観点	判断基準について
生活と技術についての基礎的な知識を理解していると ともに、それらに係る技能を身につけている。	出席、忘れ物、授業態度、提出物、課題に対する取り組みの 姿勢
生活や社会の中から問題を見出して課題を設定し、実 践・評価・改善などを通して課題を解決する力を身につ けている。	提出物や課題の内容、定期テスト
よりよい生活の実現や持続可能な社会の構造に向け て、生活を工夫し、実践しようとしている。	提出物や課題の内容、定期テスト

<年間授業計画>

学期	学習内容	つきたい力	課題
1	家庭分野ガイダンス ・自分の成長と家族・家庭生活 ・家族、家庭と地域のかかわり ・持続可能な家庭生活（衣生活）	家庭科の学習の概要を知ることができる。 これまでに自分が歩んできた道を振り返る事ができ る。現代における家族などの働きについて理解する。	・プリント ・ノート
2	・目的に応じた衣服の選択 ・日常着の手入れと保管 ・生活を豊かにするものの制作	衣服と社会生活とのかかわりや、衣服の働きを知る。 汚れの落ちる仕組みや道具の使い方がわかる。 必要な材料・用具、目的に合った縫い方を考え、製作 する事ができる。	・作品
3	・住まいの働きと心地よさ ・安全な住まいで安心な暮らし ・持続可能な住生活 ・生活の課題と実験	住まいへの働きを知る。 住まいへの願い、住まい方のルールについて考える事 ができる。 健康で快適な室内環境について考える事ができる。	・ノート

<荒牧中学校 研究テーマ>

「自主・自立を促し、主体的に学び活動する生徒の育成

～言語活動の先にある協同的探究を目指して～

自主的に取り組める雰囲気づくりをし、生徒同士の意見交換によって課題を見つけ、その課題を解決できる授業づくりをする。